

最高情報統括責任者（CIO）補佐業務に係る審査項目および配点

審査項目	審査の視点	配点	審査者
1. 実施体制・業務理解	(1) DX推進と行政経営改革の連動理解 デジタル化を単なるIT導入ではなく行政改革の手段と定義し、市の財政・組織課題を解決する論理的な方針と具体的解決策が示されているか。	100	審査員
	(2) 会社の実績 同規模の自治体において、次の実績を有しているか。 ・CIO補佐 ・行政経営改革（BPR：業務の可視化レベル以上）の推進の支援 ・情報システムの最適化の支援	100	事務局
	(3) 配置予定者の専門性 高度な資格に加え、行政経営改革の検討・推進の支援、経営層に助言できる実戦経験を備えているか。	50	審査員
		50	事務局
2. 業務遂行能力	(1) 行政経営改革（BPR：業務の可視化レベル以上）の支援 情報システムの最適化の助言に留まらず、行政経営改革の検討・推進の支援策が提案がなされているか。	150	審査員
	(2) 情報システムの最適化の支援 単なる書類不備の確認ではなく、投資対効果や技術的妥当性、既存資産との重複を鋭く見抜くための精査手法を有しているか。	150	審査員
	(3) セキュリティ・CSIRTの支援 自治体特有の三層の対策等の環境を理解し、国の指針に基づいた規定改定から有事の際の即応的な初動対応まで、専門的な伴走支援ができるか。	100	審査員
	(4) 機運醸成・人材育成の支援 汎用的な研修の提示ではなく、生成AI等の最新トレンドを取り入れつつ、本市職員の習熟度や意欲を段階的に引き上げる実効性のある工夫が含まれているか。	100	審査員
(1) 独自提案・先進事例	他自治体での成功モデルを本市の課題に合わせてカスタマイズし、仕様書の枠を超えて課題解決を加速させる独自の支援案や知見が盛り込まれているか。	100	審査員
4. 価格評価		100	事務局
評価合計		1000	